

機械器具 38 医療用鉤 鉤 (35105000)
一般医療機器

喉頭プローベ

【警告】

- ・ 本製品は取扱いに注意し、衝撃を加えたり、曲げる様なことはしないこと。
[人体への影響および製品の劣化・破損の原因になります]
- ・ 本製品は、未滅菌品です。使用には必ず洗浄・滅菌を行なうこと。
組合せ製品に関しては必ず分解して洗浄・滅菌を行うこと。
[洗浄・滅菌効果が損なわれ、尚且つ破損の原因となります]
- ・ 製品の使用にあたっては、使用上の性能・性質をご理解の上、不適当な目的に使用しないこと。
[人体への影響および製品の劣化・破損の原因になります]

【禁忌・禁止】

- ・ 本製品の加工、改造等は絶対行わないこと。製品に衝撃を加えたり、変形させたり、加工・打刻等の二次加工は行わないこと。
[製品を著しく劣化・消耗させ、故障・破損の原因になります]
- ・ 洗浄前の一次消毒は行わないこと。
[付着物の変性固着により洗浄・滅菌効果が損なわれます]
- ・ 酸・アルカリ・塩素系の強い洗浄剤および消毒液は使用しないこと。
[製品の劣化・腐食を促進させることになります]
- ・ 黒色に表面加工が施されている製品については、超音波洗浄は行わないこと。[剥離・破損する可能性があります]
- ・ 磨き粉や金属ウール等での器具の表面を磨くことはしないこと。
[製品表面のキズ・損傷・腐食の原因になります]
- ・ 洗浄後、水・蒸留水等のついた状態で長時間放置しないこと。
[製品表面の腐食・変色・シミの原因になります]

【形状・構造及び原理等】

1. 原材料/材質

材質:ステンレス、真鍮(把柄部)

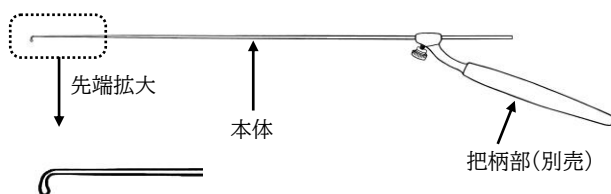
表面処理:クロムメッキ(把柄部)、黒クロムメッキ(本体、黒加工品のみ)

2. 形状:種類

斉藤氏

取付全体図

下記のように部品「把柄部」を取り付けて使用する。



＊【使用目的又は効果】

軸様のハンドルをもつ手術器具をいう。ハンドルは様々な形状のものがあ、遠位端に向かって先細になっている。遠位部は丸い先端に向かってカーブしているものもあれば曲がっているものもある。本品は再使用可能である。

＊【使用方法等】

ラリゴマイクロ手術でポリープの場所を探るために用いる。本体に把柄部を取り付けて使用する。

【使用上の注意】

- ＊＊ 使用前の保守油の除去
新品器具は器具を保護するために保守油がついているため、以下の方法により除去してから洗浄・滅菌を行うこと。

[保守油が付着したまま高圧蒸気滅菌すると器具が変色する原因となる]

<保守油の除去方法>

エタノール浸漬または保守油除去用洗浄剤を使用する。

一度で除去しきれない場合は、2～3度同様の作業を行う。

<保守油除去後の処理>

よく乾燥させ、水溶性潤滑剤を使用する。

- ・ 本製品は、未滅菌品である。使用前には適切な条件で必ず洗浄、滅菌をすること。(保守・点検に係る事項参照)
- ・ 使用開始時や再滅菌して繰り返し使用する際は、高圧蒸気滅菌・プラズマ滅菌・EOG 滅菌が可能である。
- ・ 必ず分解してから滅菌を行うこと。
- ・ 粗雑な扱いは避け、無理な力や衝撃を与えないように十分注意すること。
[取扱い中に破損したり、思わぬケガをしったりする可能性がある]

- ＊＊ 僅かな変形や破損であっても使用しないこと。

＊【保管方法及び有効期間等】

- ・ 貯蔵・保管の際は、水気や薬品に晒されないようにすること。
- ・ 洗浄後に貯蔵・保管する際は、保管期間の長短にかかわらず必ず乾燥させること。
[器具表層面への腐食・変色・シミの原因となる]
- ・ 高圧蒸気滅菌後は十分に乾燥させてから保管すること。

- ＊＊ 保管の際は、硬い物への接触や衝撃を避けること。
[変形や損傷の原因となる]

【保守・点検に係る事項】

<洗浄>

- ＊＊ 磨き粉や金属ウール等で器具の表面を磨くことはしないこと。
- ・ 使用後は付着した血液・体液・組織及び薬液等が乾燥する前に速やかに洗浄すること。
- ＊＊ 塩素系の洗浄剤および消毒液は使用しないこと。洗浄剤および消毒液は弱酸性～弱アルカリ性(≒pH6～8)のものを使用すること。
[塩素系、強アルカリ性、強酸性の薬液は、素材表面の不動態膜を破壊し、錆や孔食による器具の破損につながる]
- ・ 洗浄装置(超音波洗浄装置・ウォッシャーディスインフェクター等)を使用する際は、器具同士が接触して損傷することがないように注意すること。
- ・ 水道水により洗浄を行った場合、残渣除去のため洗浄後に精製水(蒸留水や脱イオン水)ですすぐことを推奨する。
[水道水は中に含まれる残留塩素及び有機物質が腐食・変色・シミの原因となる]
- ・ 洗剤の残留がないように十分すすぎを行うこと。
- ・ 洗浄後は直ちに滅菌を行うか、または直ちに乾燥させること。

<消毒>

- ＊＊ 洗浄前の一次消毒は行わないこと。
[付着物の変形固着により洗浄・滅菌効果が損なわれる]
- ・ 使用する消毒液は、消毒液メーカーに確認すること。

<滅菌>

- ・ 滅菌前には、汚れ・損傷等が無い点検すること。
また、点検後に適切な条件で必ず滅菌を行うこと。
- ・ 高圧蒸気滅菌を行う場合、水道水ではなく精製水(蒸留水、

脱イオン水等)を使用すること。

〔滅菌器庫内の高温高湿環境下では、水道水に含まれる塩素がステンレス鍍の防錆力を損ない、錆や孔食により本品の寿命を著しく低下させることがある〕

<点検>

- ・ 使用する前に、変形や破損がないか十分確認すること。

<その他>

- ・ ステンレス製品は、定期的に“着色・錆除去剤”でのメンテナンスを推奨する。(黒加工品を除く)

*【製造販売業者及び製造業者の氏名又は名称等】

製造販売業者：永島医科器械株式会社
TEL.03-3812-1271



製造業者：永島医科器械株式会社 第三工場